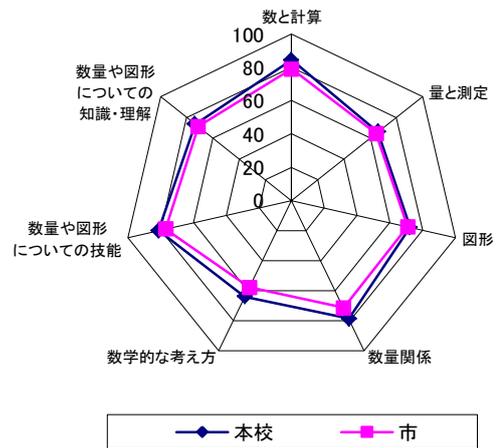


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	84.4	79.0	78.9
	量と測定	66.0	64.6	66.2
	図形	72.4	70.9	77.8
	数量関係	78.8	71.6	66.6
観点別	数学的な考え方	64.0	57.8	54.8
	数量や図形□についての技能	81.3	76.9	75.2
	数量や図形□についての知識・理解	73.6	71.3	75.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は、宇都宮市の平均を上回っており、特に分数のかけ算わり算がよくできている。 分数の除法を図から読み取り式を選ぶ問題については、市の平均よりはやや上回っているが、60%には届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市で行っている「宮っ子学力ステップアップシート」を活用し、漢字や計算の基本的な学力の向上を図る。 新しい単元に入る前に、既習内容の復習などを行っていく。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っている。 速さの単位を時速から分速に直したり、単位量あたりの値を求めたりする問題では正答率が60%を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、面積、体積、速さなどの数量感覚を実生活につなげていけるような支援の工夫をする。 特に低学年では、操作活動を多く取り入れ、実際に比較することで理解を深められるようにする。 中高学年では、問題の状況をイメージできるような教材の工夫をする。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っており、作図においては90%以上と正答率が高い。 図形の性質について説明したり、性質を使って求めたりする問題においては、市の平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい単元に入る際に、既習事項の確認をし、共通点や違いを見つけながら理解を深めていけるようにする。 学年に応じて、図形の性質をしっかりとおさえたり、作図や立体を想像したりする活動を多く取り入れるようにする。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は宇都宮市の平均を上回っており、特に割合と比を用いて求め方を説明する活用問題においては、市の平均より20ポイント以上正答率が高い。 円グラフの読み取りについては、正答率が66%とやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じて表やグラフの読み方をしっかりとおさえる。 「□を使った式」などでは、特に式の意味を理解できるよう、場面の様子が思い浮かべられるように教材を工夫し、「文字の式」の学習へつなげられるようにする。